

2026年9月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）



2026年5月14日

上場会社名 株式会社CRI・ミドルウェア 上場取引所 東
 コード番号 3698 URL <https://www.cri-mw.co.jp/>
 代表者（役職名）代表取締役社長（氏名）押見 正雄
 問合せ先責任者（役職名）執行役員コーポレート本部長（氏名）有本 貴裕 (TEL) 03-6823-6853
 半期報告書提出予定日 2026年5月14日 配当支払開始予定日 2026年6月4日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年9月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年10月1日～2026年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年9月期中間期	1,849	△0.4	301	△22.3	321	△17.8	222	△18.1
2025年9月期中間期	1,855	23.8	387	108.8	390	104.8	271	78.2

(注) 包括利益 2026年9月期中間期 242百万円(△13.0%) 2025年9月期中間期 278百万円(91.3%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年9月期中間期	42.56	—
2025年9月期中間期	51.95	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり中間純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年9月期中間期	4,840	4,202	86.1
2025年9月期	5,839	4,098	69.3

(参考) 自己資本 2026年9月期中間期 4,167百万円 2025年9月期 4,047百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年9月期	—	0.00			
2026年9月期	—	13.00			
2026年9月期(予想)			—	14.00	27.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年9月期の連結業績予想（2025年10月1日～2026年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,910	13.4	600	8.2	616	8.7	462	9.8	88.40

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
 新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

会計方針の変更に関する注記

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2026年9月期中間期	5,578,150株	2025年9月期	5,578,150株
2026年9月期中間期	352,077株	2025年9月期	352,077株
2026年9月期中間期	5,226,073株	2025年9月期中間期	5,225,173株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (中間期)

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の要因に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当中間決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10
(1株当たり情報)	11
(重要な後発事象)	11

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、中東情勢の影響もあって一部に弱めの動きもみられるものの、企業収益は、製造業において米国の関税政策による下押しの影響がみられるが、全体としては高水準を維持し、業況感も中東情勢の影響を受けつつも良好な水準で推移しており、景気は緩やかに回復しております。

当社グループを取り巻く事業環境については、モビリティ業界において、SDV (Software Defined Vehicle) の開発が注目を集めており、ゲーム業界でミドルウェアを開発し培ってきた当社の技術と知見が、モビリティ業界で活用できる環境やタイミングが整いつつあります。また、「2025大阪・関西万博」では、リアル会場での盛り上がりと同時に、バーチャル万博が併設され、オンライン空間上で大勢の人がコミュニケーションを行うなど、オンラインコミュニケーションの活用はリアルとバーチャルのハイブリッドという形で着実に進展しております。

これらの状況下、当社グループは、モビリティやオンラインコミュニケーションなど今後成長が見込める事業、市場を見据えた研究開発体制を整備するとともに、新製品の創出や海外展開の推進など事業基盤の拡大、グループシナジーの創出に注力いたしました。

当中間連結会計期間の業績は、売上高1,849,047千円(前年同期比0.4%減)、営業利益301,137千円(前年同期比22.3%減)、経常利益321,330千円(前年同期比17.8%減)、親会社株主に帰属する中間純利益222,398千円(前年同期比18.1%減)となりました。

セグメント毎の経営成績は、次のとおりであります。

① ゲーム事業

当社製ミドルウェア「CRIWARE(シーアールアイウェア)」等の国内許諾売上高は、複数の一括契約獲得により当第2四半期業績が押し上げられたものの、第1四半期の減収影響が残り、微減となりました。海外向け売上高は、中国でアカウント営業戦略の成果がスタート、許諾収入が増加したものの、欧米での採用タイトル獲得が計画どおりに進まず、減少いたしました。株式会社ツーフাইブが行う音響制作の売上高は、中国からの大型の音声収録案件が引き続き好調に推移し、増加いたしました。なお、オンラインコミュニケーションミドルウェア「CRI TeleXus」への研究開発投資は当セグメントにおいて継続して行っております。利益面は、海外展開強化のための先行投資により、減少いたしました。当セグメントの売上高は937,334千円(前年同期比1.2%減)、セグメント利益は86,747千円(前年同期比32.6%減)となりました。

② エンタープライズ事業

モビリティ分野の売上高は、車載メーターグラフィックソリューション「CRI Glassco」の許諾収入がインド市場向け二輪車を中心に好調に推移し、増加いたしました。組込み分野の売上高は、前年にあったカラオケの新機種発売に伴う特需が剥落したことにより、減少いたしました。クラウドソリューション分野の売上高は、前期第3四半期よりR&Dフェーズへシフトしていることにより、減少いたしました。利益面は、組込み分野のカラオケ特需剥落やクラウドソリューション分野のR&Dフェーズへのシフトが影響し、減少いたしました。当セグメントの売上高は911,712千円(前年同期比0.5%増)、セグメント利益は214,390千円(前年同期比17.1%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産の部

当中間連結会計期間末の資産の部は、前連結会計年度末に比べて99,397千円減少し、4,840,436千円となりました。これは主に、「売掛金及び契約資産」の増加(前連結会計年度末に比べて337,731千円の増加)及び「その他流動資産」の増加(前連結会計年度末に比べて25,743千円の増加)並びに「投資有価証券」の増加(前連結会計年度末に比べて100,068千円の増加)があった一方、「現金及び預金」の減少(前連結会計年度末に比べて1,403,667千円の減少)、「仕掛品」の減少(前連結会計年度末に比べて12,055千円の減少)及び「ソフトウェア」の減少(前連結会計年度末に比べて30,445千円の減少)並びに「繰延税金資産」の減少(前連結会計年度末に比べて14,477千円の減少)によるものであります。

② 負債の部

当中間連結会計期間末の負債の部は、前連結会計年度末に比べて1,103,944千円減少し、637,840千円となりました。これは主に、「買掛金」の減少(前連結会計年度末に比べて18,235千円の減少)、「未払法人税等」の減少(前連結会計年度末に比べて17,886千円の減少)、「賞与引当金」の減少(前連結会計年度末に比べて43,330千円の減少)及び「1年内償還予定の転換社債型新株予約権付社債」の減少(前連結会計年度末に比べて1,000,000千円の減少)並びに「長期未払金」の減少(前連結会計年度末に比べて19,406千円の減少)によるものであります。

③ 純資産の部

当中間連結会計期間末の純資産の部は、前連結会計年度末に比べて104,546千円増加し、4,202,596千円となりました。これは主に、「親会社株主に帰属する中間純利益」の計上による「利益剰余金」の増加(前連結会計年度末に比べて91,746千円の増加)及び「為替換算調整勘定」の増加(前連結会計年度末に比べて28,133千円の増加)によるものであります。

④ キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ1,403,662千円減少し、2,839,700千円となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況は以下の通りです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間において営業活動により支出した資金は171,033千円(前年同期は422,236千円の獲得)となりました。これは主に、税金等調整前中間純利益の計上321,330千円及び減価償却費の計上46,502千円並びに未払費用の増加額25,769千円の資金の増加要因があった一方、売上債権の増加額347,846千円、賞与引当金の減少額43,330千円、その他の流動資産の増加額24,793千円及び仕入債務の減少額18,235千円並びに法人税等の支払額96,679千円の資金の減少要因があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間において投資活動により支出した資金は113,243千円(前年同期は22,954千円の支出)となりました。これは主に、投資有価証券の取得による支出100,000千円及び有形固定資産の取得による支出10,848千円の資金の減少要因があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間において財務活動により支出した資金は1,130,651千円(前年同期は104,503千円の支出)となりました。これは、転換社債型新株予約権付社債の償還による支出1,000,000千円及び配当金の支払いによる支出130,651千円の資金の減少要因があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年9月期の連結業績予想は、2025年11月6日に公表しました連結業績予想から変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年9月30日)	当中間連結会計期間 (2026年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,242,352	2,838,685
売掛金及び契約資産	616,343	954,074
商品	3,955	3,955
仕掛品	18,702	6,647
その他	78,310	104,054
貸倒引当金	△2,375	—
流動資産合計	4,957,289	3,907,417
固定資産		
有形固定資産		
建物	139,782	139,782
減価償却累計額	△31,855	△36,541
建物(純額)	107,926	103,240
工具、器具及び備品	122,929	132,487
減価償却累計額	△88,569	△96,079
工具、器具及び備品(純額)	34,359	36,407
有形固定資産合計	142,286	139,648
無形固定資産		
ソフトウェア	276,033	245,588
無形固定資産合計	276,033	245,588
投資その他の資産		
投資有価証券	239,212	339,281
繰延税金資産	80,880	66,403
その他	144,131	142,096
投資その他の資産合計	464,224	547,781
固定資産合計	882,544	933,018
資産合計	5,839,834	4,840,436

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2025年9月30日)	当中間連結会計期間 (2026年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	43,517	25,282
1年内償還予定の 転換社債型新株予約権付社債	1,000,000	—
賞与引当金	43,330	—
未払法人税等	106,648	88,761
その他	376,063	370,977
流動負債合計	1,569,560	485,022
固定負債		
長期末払金	172,224	152,817
固定負債合計	172,224	152,817
負債合計	1,741,784	637,840
純資産の部		
株主資本		
資本金	784,904	784,904
資本剰余金	825,082	825,082
利益剰余金	2,808,684	2,900,430
自己株式	△381,809	△381,809
株主資本合計	4,036,862	4,128,608
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	11,029	39,162
その他の包括利益累計額合計	11,029	39,162
新株予約権	7,347	—
非支配株主持分	42,810	34,824
純資産合計	4,098,049	4,202,596
負債純資産合計	5,839,834	4,840,436

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年3月31日)
売上高	1,855,904	1,849,047
売上原価	717,997	667,572
売上総利益	1,137,907	1,181,474
販売費及び一般管理費	750,387	880,336
営業利益	387,520	301,137
営業外収益		
受取利息	659	3,686
受取配当金	6	6
補助金収入	2,445	—
新株予約権戻入益	—	7,347
為替差益	—	7,305
その他	981	1,847
営業外収益合計	4,092	20,193
営業外費用		
為替差損	640	—
その他	88	0
営業外費用合計	729	0
経常利益	390,883	321,330
税金等調整前中間純利益	390,883	321,330
法人税、住民税及び事業税	126,113	79,629
法人税等調整額	△10,894	14,477
法人税等合計	115,219	94,106
中間純利益	275,664	227,224
非支配株主に帰属する中間純利益	4,199	4,826
親会社株主に帰属する中間純利益	271,464	222,398

中間連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年3月31日)
中間純利益	275,664	227,224
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	3,185	15,264
その他の包括利益合計	3,185	15,264
中間包括利益	278,849	242,488
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	269,542	250,531
非支配株主に係る中間包括利益	9,306	△8,042

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	390,883	321,330
減価償却費	65,218	46,502
のれん償却額	554	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	—	△2,375
賞与引当金の増減額(△は減少)	30,500	△43,330
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	5,135	—
売上債権の増減額(△は増加)	31,709	△347,846
棚卸資産の増減額(△は増加)	13,486	12,055
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△27,288	△24,793
仕入債務の増減額(△は減少)	△30,851	△18,235
未払費用の増減額(△は減少)	2,820	25,769
その他の流動負債の増減額(△は減少)	41,268	3,674
長期未払金の増減額(△は減少)	—	△19,406
その他	9,860	△30,082
小計	533,296	△76,736
利息及び配当金の受取額	596	2,382
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△111,657	△96,679
営業活動によるキャッシュ・フロー	422,236	△171,033
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	—	△100,000
有形固定資産の取得による支出	△7,563	△10,848
無形固定資産の取得による支出	△676	△2,466
敷金及び保証金の差入による支出	△14,785	—
その他	71	71
投資活動によるキャッシュ・フロー	△22,954	△113,243
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△104,503	△130,651
転換社債型新株予約権付社債の償還による支出	—	△1,000,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	△104,503	△1,130,651
現金及び現金同等物に係る換算差額	3,305	11,265
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	298,083	△1,403,662
現金及び現金同等物の期首残高	3,629,500	4,243,362
現金及び現金同等物の中間期末残高	3,927,583	2,839,700

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前中間連結会計期間(自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2024年11月7日 取締役会	普通株式	104,503	20	2024年9月30日	2024年12月5日	利益剰余金

2. 基準日が当中間連結会計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当中間連結会計期間末後となるもの
該当事項はありません。

3. 株主資本の金額の著しい変動

該当事項はありません。

当中間連結会計期間(自 2025年10月1日 至 2026年3月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2025年11月6日 取締役会	普通株式	130,651	25	2025年9月30日	2025年12月4日	利益剰余金

2. 基準日が当中間連結会計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当中間連結会計期間末後となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2026年5月14日 取締役会	普通株式	67,938	13	2026年3月31日	2026年6月4日	利益剰余金

3. 株主資本の金額の著しい変動

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			中間連結損益計算書計上額
	ゲーム事業	エンタープライズ事業	計	
売上高				
外部顧客への売上高	948,867	907,037	1,855,904	1,855,904
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	948,867	907,037	1,855,904	1,855,904
セグメント利益	128,795	258,724	387,520	387,520

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する事項
該当事項はありません。

II 当中間連結会計期間(自 2025年10月1日 至 2026年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			中間連結損益計算書計上額
	ゲーム事業	エンタープライズ事業	計	
売上高				
外部顧客への売上高	937,334	911,712	1,849,047	1,849,047
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	937,334	911,712	1,849,047	1,849,047
セグメント利益	86,747	214,390	301,137	301,137

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する事項
該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり中間純利益及び算定上の基礎、潜在株式調整後1株当たり中間純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前中間連結会計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年3月31日)
1株当たり中間純利益	51円95銭	42円56銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する中間純利益(千円)	271,464	222,398
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する中間純利益(千円)	271,464	222,398
普通株式の期中平均株式数(株)	5,225,173	5,226,073
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり中間純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	—	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり中間純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。